

平成17年度再評価箇所

事業名	J R長崎本線（長崎駅周辺）連続立体交差事業		事業区分	街路事業 （連続立体交差）	事業主体	県
起終点	自：長崎市川口町（浦上駅付近） 至：長崎市尾上町（長崎駅）				延長	2.4 km
事業概要	当事業は、J R長崎本線の浦上駅付近から長崎駅までの約2.4 km区間を高架化し、4箇所の踏切を除却することにより、都市内交通の円滑化を図るとともに、分断された市街地の一体化を図る。					
H13年度事業化 （着工準備）	H18年度都市計画決定 （予定）	H19年度用地着手 （予定）	H22年度工事着手 （予定）			
全体事業費	348億円	事業進捗率	0.2%	供用済延長	0 km	
計画交通量	— 台/日					
費用便益 分析結果	B/C （事業全体） 1.74 （残事業） —	総費用 （残事業）/（事業全体） — / 268億円 （事業費：—/249億円） （維持管理費：—/19億円）	総便益 （残事業）/（事業全体） — / 466億円 （走行時間短縮便益：—/448億円） （走行費用減少便益：—/17億円） （踏切事故解消便益：—/1億円） （迂回交通減少便益：—/0億円）	基準年 平成17年		
事業の効果等	・長崎市内の4踏切を除却することにより、踏切遮断による交通渋滞の緩和・踏切事故の解消が図られる。					
関係する地方公共団体等の意見	・長崎市、市議会、地元自治会とも早期着工を望んでいる。 （長崎駅周辺連続立体交差事業促進協議会（事務局：長崎市）がH12.2に設立されている。）					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・踏切を通過する交通量はそれ程増加しておらず、周辺環境の変化は少ない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	・当該施設の管理者となる鉄道事業者を始めとした関係機関との協議・調整を行っている。 ・調査設計を進めており、その成果を元に都市計画決定の手続きを進める。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	・長崎駅周辺のまちづくり計画との調整、多額の鉄道事業者負担の調整に時間を要しているため。					
施設の構造や工法の変更等	・特になし					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	・当初と事業の必要性や重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。